東京八王子プロバスクラブ

創立 1995 年 10 月 18 日

2014～15年度テーマ

プロバスだより

第227号

2014年10月9日発行

http://www.tokyo-hachioji-probusclub.jp

編集・発行：情報委員会

［参加して真に生き甲斐の持てるクラブ］

～先人の知恵を受け継ぎ、自分を出し切ることに徹しよう～

第 227 回例会

日　時：平成 26 年 9 月 11 日(木) 12:30～14:30
場　所：八王子エルシィ
出席者：63 名　欠席者 7 名　出席率 90%
（会員総数 70 名　休会 0 名）

会食とハッピーコイン披露

田中美代子例会委員長の合図で会食を始め、会食中に永井副会長より 11 名のハッピーコインが披露された。（p 5 参照）

開会　田中例会委員長の司会で開会
本日の配布資料の確認

1. 挨拶　　土井会長

みなさん今日は。ようやく秋らしく涼しくなってきました。朝晩の爽快感は格別ですね。でもまた日中は晴れるとまだまだ暑さが身にこたえます。夏の暑さのために体調をくずされた方はいませんか！天高く馬肥ゆる秋といいますが、人も夏の疲労を回復させ冬に備えて力を充実させてください。

7 月のころでしたが、お盆のお墓参りに出掛けたある老婦人がやや興奮ぎみに話していました。ペットのお墓にはお花がどの墓にも一杯供えられ大変ににぎわいで、お線香の煙が絶えなかったそうです。それに対して人のお墓へのお参りは少なく、閑散としていて落ち着いたたたずまいであったというのです。最近のペットブームの中で可愛らしい犬や猫を飼われている人が多くなっています。そういう人の中で、ほとんどの人は人も愛せる、動物も愛せるという人ですが、中にはペットは愛せても人は愛せないという人がいるようです。こういう人達から聞かされる言葉に、人間は自分の意見に反対し、たてついたり、うそを言ったり、信頼を裏切るので好きになれない。ペットは裏切らないし、信頼に応えてくれる、そして私の心をいやしてくれるので愛せるのだというのです。ペットは全く家族の一員なので死ねば人並みにお墓に葬って供養するのでしょう。

最近の少子化という現象は、人間どうしの愛の不毛によるのではないかと思うようになりました。

2. バースデーカード贈呈

土井会長から、池田会員手作りのバースデーカードが 6 名の会員に贈られた。写真左から会長、岡部、

野口、馬場、吉田、小林貞男（欠席　岡田）会員。

3. 卓話　写真同好会の作品紹介

矢島　一雄

卓話の新しい形として、今回は写真同好会の作品を映像で紹介します。これらの作品は同好会メンバーが四季折々の自然をカメラに納めて来たもので、自然の素晴らしさを感じて頂ければ幸いです。

最初の写真は、同好会の５人で本年７月に信州・白馬山麓にある高山植物園を訪ねた時の記念撮影です。（山崎会員はゲスト参加。）

以下、武田メンバー編集による映像によって作品を紹介し、撮影者にコメントを添えて頂きます。（編集注；大量の画像のため、掲載は一人一作品に限定させて頂きました。但しトリミングなし、縮小あり。ｐ７の矢島会員の投稿文も参照して下さい。）

岡本メンバー（以下ＭＢ）；山ゆり（ユリ科）

下山ＭＢ；コマクサ（ケマンソウ科）

小林時雄ＭＢ；コマクサ（ケマンソウ科）

八木ＭＢ；カンパヌラ（キキョウ科）スイスで撮影

武田ＭＢ；ヒマラヤの青いケシ（ケシ科）日本で

矢島ＭＢ；チューリップ（ユリ科）

有泉ＭＢ；エゾツツジ（ツツジ科）北海道で

土井ＭＢ；月の輪椿（ツバキ科）

4. 幹事報告　　武田幹事

（１）お願い事項 １；例会中は携帯電話の電源をオフにするかまたはマナーモードにしてください。

（２） お願い事項２;会員全員に配布する資料等は、事前に幹事へ提出し、理事会の承認を得るようにしてください。(理事会の承認を経ていない配布物については、例会の受付に置いて、関心のある方に取ってもらうことは可能です。)

（３）話題を二つ紹介します。

その１；シニアダンディーズの歌唱指導者・畑野かん奈さんが指導する日野市立七生緑小学校の合唱は、ＮＨＫのコンクールで今年も東京都と関東甲信越地区で金賞を受賞しました。10 月の全国大会でも昨年に引き続く金賞を期待しています。

その２；八王子で過去３回開催された「ガスパール・カサド・チェロ・国際コンクール」は、残念ながらこの８月末で活動を休止しました。参加者が少ないこと、運営資金不足が原因だそうです。八王子市における世界レベルの活動が消えるのは、寂しいことです。

5. 委員会報告

（1）例会委員会　田中委員長

出席会員数の報告（前記のとおり）

（2）情報委員会　河合委員長

皆様のお手元にプロバスだより 226 号をお届けしました。お預かりしていた投稿原稿 2 本が、掲載するタイミングを失うため一挙掲載し、10 ページになりました。投稿文の在庫がなくなりましたので、会員の皆さんからの投稿をお待ちしています。

（3）会員委員会　岡本委員長

会員名簿について、磯会員の備考欄に訂正があり、関連ページを本日配布しました。名簿は部外秘であり取扱いにはご注意をお願いします。また、新会員の推薦について、先月に引き続きお願い致します。

（4）研修委員会　石田委員長

配布資料「野外研修のご案内」をご覧ください。今年度の野外研修は 11 月 13 日（木）に、「江ノ島見学会」として新江ノ島水族館を見学後、江ノ島を自由散策し、遊行寺を参拝することにしました。かつて 2011 年に計画し東日本大震災発生で中止になったコースとほぼ同じコースです。奮ってご参加をお願いします。(説明の詳細は省略)

（5）地域奉仕委員会　寺田委員長

学習サロンの途中経過を報告します。

先月の例会で、学習サロンについてのアンケートをお願いしました。アンケートのうち回収できた件数は 24 件と大変少なかったのですが、その結果と、自薦・他薦テーマ、毎年やって頂いているテーマ等を合わせて、本日例会後の打ち合わせで候補者を決めさせて頂きます。

従って、今後皆様に個別にお願いをさせて頂きますので、なにとぞよろしくお願いをいたします。

6. 八王子「宇宙の学校」プロジェクト

下山リーダー

①八王子「宇宙の学校」の主要メンバーが、ミニ地域情報誌「はちとぴ」の取材を受けました。来月号あたりに、八王子「宇宙の学校」の紹介記事が掲載されると思いますので、ご承知おきください。

②八王子「宇宙の学校」は 9 月 7 日(日)の本部会場からスクーリングを再開しました。引き続き 9 月 27

日（土）は八王子北高校会場、9 月 28 日（日）は東京工科大学会場で第 2 回スクーリングを行います。支援の会の会員のご協力をよろしくお願いします。また見学も歓迎しお待ちしています。

7. 交流担当　　浅川理事

配布資料「全日本プロバス協議会第 6 回総会の案内」（参加申込書添付）をご覧ください。11 月 23 日（日）に横浜で開催されますこの総会は、当クラブの立川会員が会長代行として総会の議長の大役を務められますし、全国から集まる他クラブの会員との交流を図る良い機会でもあります。新しい横浜の見物と有名中華料理店の食事もありますので、多くの会員の出席を期待しています。

8. 創立 20 周年記念事業報告

吉田事務局長

先月の杉山準備委員長の報告（今例会で配布した「プロバスだより」226 号を参照）に基づいて、第 2 回準備委員会を 9 月 25 日(木)に開催すべく準備を進めています。

9. 同好会報告

(1) ゴルフ同好会　　米林会員

先月案内させて頂きました第 4 回多摩地区プロバスクラブ合同ゴルフコンペは、その後プレー費が安くなりましたので、多くの会員の参加をお待ちしています。

(2) 歴史を肴に語ろう会　　土井俊雄会員

池田会員から新潟県長岡市で出土した「火焔土器」の鑑賞を中心とした縄文土器の見学の旅（1 泊 2 日）の提案があり、歴史の会としてこれを承認しました。配布資料「5,000 年前（縄文中期）の火焔型土器に触れる旅」をご参照の上、興味を持たれる多くの会員の参加をお待ちします。池田会員から補足説明があります。

池田会員からは、長年縄文土器に大いなる興味をもってきたこと、火焔土器の素晴らしさ、新潟県文化行政課の専門調査員が案内についていただけること、などの紹介と熱心なお誘いの挨拶がありました。

(3) 囲碁同好会　　下山会員

配布資料（「2014 秋季囲碁大会のご案内」）の通り、恒例の秋の囲碁大会を 10 月 17、18 日に 1 泊 2 日で行います。奮って参加してください。

(4) 麻雀同好会　　東山会員

7 月と 8 月は同好会が開催できませんでした。これに絡んで、今後の運営について関係者とご相談いたしたく、本例会後にお集まりください。

(5) カラオケ同好会　　杉山会員

世話役の宮城会員に代わってお知らせします。今例会配布の当同好会案内資料をご覧の上、多くの会員の参加をお待ちしています。（詳細省略）

9. その他

(1) 立川会員；9 月 18 日（木）に八王子市の新体育館の内覧会を計画した所、約 30 名が参加予定です。楽しい内覧会にしましょう。（本号発行時には終了しているので、詳細は省略）

(2) 佐々木研会員；例年の行事である「八王子いちょう祭り」（今年は 11 月 15 日、16 日）へのご協力をお願いします。今年は第 35 回の記念式典に加え、東日本大震災復興支援、国際協力をテーマに行います。当クラブへの依頼内容は、①C 会場の受付・案内・取次ぎ②通行手形の購入③祭り当日に来場して参加、の 3 点です。いちょう祭りは 1979 年に当クラブの大野聖二会員がプロモーターとなって推進してスタートしました。会員の皆様のご協力をお願いする次第です。

(3) 橋本鋼会員；情報委員会のホームページ（HP）担当としてのお願いです。①同好会のHPの約半数が古い内容のままとなっています。本日責任者にアップデートをお願いしました。②HPに会員活動のページがあります。大いにご活用ください。

10. プロバス賛歌斉唱

11. 閉　会

永井副会長

本年度も 3 ヶ月が過ぎました。この 3 か月間は、どちらかと言えば新体制

の準備期間でしたが、10 月からは具体的に色々な案件が動き出すと思います。

また、種々の行事に関する費用の発生があります。皆様のご協力をお願いしまして、本例会を終わりと致します。

全日本プロバス協議会報告（4）

全日本プロバス協議会
会長代行
立川　冨美代

全日本プロバス協議会の組織（26 年 11 月まで）

会長　　25 年 11 月死去により空席
副会長　立川冨美代　東日本担当（八王子ＰＣ）
　　11 月総会まで会長代行
副会長　野村浩司　西日本担当（大阪ＰＣ）
副会長　古賀靖子　九州担当　（北九州ＰＣ）
幹事長　森山功　　（横濱ＰＣ）
監査　　空席
理事　　全国９ブロック理事の内現在６名
幹事　　総務　中村（多摩）須藤（横濱）
　　関根（多摩）浅川（八王子）
　　経理　小磯（横濱）
　　情報　宮川（横濱）

空席、人数不足の所は総会までに決定する

第６回全日本プロバス協議会総会

第１回は大阪にて総会開催以後、尼崎、京都、旭川神戸と２年おきに開催しましたが、今年は横濱です。

日時：平成 26 年 11 月 23 日（日）
会場：神奈川県民ホール　13：00～15：00
懇親会：中華街“萬珍楼”16：00～18：00
会費：１名　10,000 円
特筆：各クラブソングの発表（ＣＤ）
　　写真同好会の募集写真の展示発表

是非大勢の会員のご参加をお待ちいたします。

（以下次号へ）

ハッピーコイン

例会での披露順に掲載

◆池田さんからの喜寿の祝いのバースデーカードが頂けます。ハッピーです。　吉田　信夫

◆本日バースデーカードを頂戴します。昔の喜寿になりましたが、諸先輩を見習って、先をみて歩みたいと思っています。　馬場　征彦

◆今月末 70 代最後の誕生日を迎えます。このまま元気で 80 代に突入したいと思っています。　岡部　洽

◆失念して２倍返し。前月誕生月を失念し、コインを怠ってしまった。申し訳ない。今月倍払い致します。　宮崎　浩平

◆支援の会を通してご支援頂いたお蔭で、「宇宙の学校」の２学期が無事に始まりました。ありがとうございます。　下山　邦夫

◆今月末から毎年恒例の「バンコク」へ 10 日程、静養の旅に行ってきます。　野口　浩平

◆中３になる孫娘が、所属するバレエ・スタジオの２年に１度の発表会で、プリマのオーロラ姫を無事演じ切り、じいじ感涙にむせぶ。　田中　信昭

◆さし木した菊が５本全部根付いて元気に育っている。うれしいものです。　土井　俊玄

◆錦織君、今回の全米オープンテニス、良く頑張りました。今後の活躍に期待します。　山口　三郎

◆錦織圭、日本人初の快挙、全米オープン準優勝おめでとう。感動をありがとう！！　飯田冨美子

◆なんとなく！！　万事はおかげさまで！！　杉山　友一

投　稿

湯行のすすめ

大髙　秀夫

定年退社間もなくの頃、五十肩といいますか、左腕が痛くて上がらなくなり医者通いをしましたが、結局は加齢によるものだということで、これからは肩の上下と前後の運動を各 20 回続けるようにと医師に勧められました。

以前テレビで風呂に入っている時に、何もしないより何か運動をした方がいいということを聞いたことがあったので、手足の指の屈伸運動をやっていましたが、それからは肩の運動を追加して毎日続けてきて、間もなく 20 年になろうとしています。

そんな時何かの本で“湯行のすすめ”ということを知りました。いきなり“湯行”といわれましても聞きなれない言葉ですので、お分かりにならないと思いますが、湯というのは“ゆ”つまりお風呂のことですが、“行”は仏教でいう「諸行無常」の“行”のことだそうで、私の手元の辞書をみますと行とは「悟りを開くための修行」とありました。だからといって滝に打たれて身を浄めるというような荒行をしましょうということではありません。

暖かいお風呂に浸って、今日も一日無事に過ごさせて頂いたという至福のひと時ですが、ここで少し時間を頂いて、「もしここにお湯が無かったらば」と考えてみましょう。このお湯が無かったらお風呂を頂くことが出来ません。この水が無かったら一切の物は育ちませんし、人間も存在することが出来ません。

水を与えて下さっているのは自然の摂理であり、私達は自然の恵みに支えられて、生かされていることに気付くはずです。お湯の中で泌泌（しみじみ）と“水”と水をお湯に変えてくれた“火”に感謝し、自然の仕組みによって生かされている歓びに浸りながら、「有り難うございます」という感謝の心を育んで行くことが“湯行”の基本だそうです。

同時に運動をすることで手足の指が動き、身体を自由に動かすことが出来ている自分を見つめなおし、何とも有り難いということを再認識することが出来ると思います。この忙しい現代社会の中で「有り難い」「勿体ない」という心を育んで行くことが人として大切なことだと思います。「有り難うございます」という一言が日常生活に、また人間関係に潤いを与えてくれる大切な言葉だと思います。

ところが地上の動物のなかで人間だけが大自然の摂理からかけ離れてしまって便利な生活を追い続けて、自然環境を破壊し大気は汚染され、温暖化が進み公害問題や異常気象が発生して来てしまいました。

私達は自分一人で生きて行ける筈もなく、自然の恵みと回りのたくさんの方々に支えられて生かされている訳ですから、「有り難い」「勿体ない」という感謝の心を持って一日いちにちを過ごさせて頂くことが大切なのではないでしょうか。

先ずは、食べ物を無駄にしたり、使い捨ては便利だといってゴミの山を作らないように節約を心掛け、残り少ない余生を楽しく過ごさせて頂きたいと願っています。「真に有り難うございました」

縄文の土器見てある記　(2)

池田ときえ

〇長岡市立科学博物館

長岡の自然と暮らし、その歴史を展示しています。

自然史コーナーでは、古積層に埋もれていた７メートルもの巨大な海牛化石の復元模型を見上げて子供たちが目を丸くしています。長岡の歴史コーナーでは、みなさんご存知の「米百俵」の背景となった教育環境を紹介しています。関心のある方も多いでしょう。市内で発掘された土器類はほぼこちらに展示されていますので、馬高縄文館と併せて見学するといいでしょう。

11 月 24 日までの企画展「中越地震特集展　博物館からみた被害と復旧」では、地震で倒れた土器群や、屋外の復元遺跡の復旧の様子を展示しています。自然災害の影響は至る所に及びます。度々の地震を経験している私たち、博物館がどんな苦労と対応で貴重な資料を守ってきたのか興味あるところです。

〇津南町　農と縄文の体験実習館（なじょもん）

館の紹介文に〈津南町の主な産業である「農業」と文化遺産の「縄文時代」をキーワードとし、津南町の歴史的自然環境を守り、後世に伝えていく〉とあります。

豊かな里山の広大な敷地には、広場、畑、縄文ムラ、森の中にはツリーハウスや遊具もあります。畑では縄文時代の食料であったアワやヒエなどの雑穀、アンギン編みの素材のカラムシを育てています。季節の花が溢れる中で、大人も子供も楽しみながら縄文時代を学べる施設です。近頃知られるようになった野外展示、「大地の芸術祭」の時期には作品が見られます。

館内の整理室には、5500 年前の道尻手遺跡出土の土器が並んでいて、手を触れることができます。本物の土器にさわれるなんてめったにない機会ですよ。11 月 9 日まで企画展「魚沼地方の先史文化」を開催しています。

魚沼といえば米どころ、その昔々の様子はどうなのでしょうか。旧石器時代から弥生時代にかけての自然環境など、最新の研究成果が紹介されるようです。火焔型土器とともに、地元の土器の展示もあるとのことで楽しみです。

以前訪れた時は企画展「三十稲場式土器文化の世界」があり、なんと蓋付きの土器がたくさん展示されていました。熱効率を考えればそうなる道理ですね。

〇津南町歴史民俗資料館

こじんまりした施設ですが、私の好きな沖の原遺跡出土の土器があり、はるばる訪ねたことがあります。足がないので館の方に送迎していただいたのは懐かしい思い出です。

ここの火焔型土器もさりながら、相互に影響を受けている在地系の土器にも魅力的なものがあります。先に挙げた沖の原、堂平、道尻手遺跡などの出土品です。

通常、土器は壊れた、あるいは壊された状態で出土するものです。その破片を集め時間をかけて組み合わせて原型に近い形に復元します。かつては欠けた部分に白い石膏を埋めていました。最近は修復技術が進んで完品に近いような仕上げになっています。おかげで出来た当時のイメージはつかめるのですが、きれい過ぎて時間の流れを感じることができず、絵にならないのです。

この館の収蔵品の多くは昔ながらの石膏仕上げ、年月を経た土器の肌の色と石膏の白の対比が美しいと思うのは私だけかなあ。

秋山郷に近い雪深い土地です。220 年以上経つ古民家が保存されていて、家の内外は雪国仕様、雪に閉ざされる冬の暗さを思います。家の真ん中にある炉は、家族や近隣とのつながりの場であったでしょう。縄文時代もまたそうであったと想像しています。

「写真は先月号で紹介した“国宝　火焔型土器（十日町市笹山遺跡）”」

山に住む人々の民俗、信仰は遠く縄文の伝統を基層とするといわれます。生活用具，神事の道具を見てその一端に触れる思いがしました。

写真同好会・白馬五竜高山植物撮影紀行

矢島　一雄

今年の夏の撮影会は､7 月 15 日～16 日の一泊二日の日程で信州白馬山麓に広がる海抜 1500ｍの斜面に咲く高山植物の撮影を中心に、安曇野の自然に触れる旅となった。

今回は、旅行の会から山崎会員が参加されて総勢 5 名いささか寂しいが快晴の天気に恵まれ、小林会員運転の車に乗って中央高速を一路安曇野 IC 目指した。高速道を降りるとまもなく最初の撮影地大王ワサビ園に無事に到着した。

園内は、久しぶりに素晴らしい天気に恵まれたせいか、大勢の人達がそこかしこに楽しんでいる姿が見られる。

我々も早速撮影を開始する。園内を流れる清流に静かに音を響かせる水車や、池に漂う水草の花の下を気持ち良さそうに泳ぐイワナや鱒などの魚、久しぶりの自然の佇まいに時刻の過ぎるのも忘れて無心にシャッターを切る。

気が付くと昼食の時間、撮影を切り上げ園内を出ると街道沿いの信州手打ちそばののぼりが目に飛び込んできた。信州に来たらまずはそば、参加者全員これで昼食は決まり、天ぷら付きせいろそばに大満足の昼食でした。

そばで腹を満たした我々は、さらに街道を北上すること 1 時間 40 分あまり､ようやく目的地の白馬村に到着し、ゴンドラ駅近くの料理が自慢のプチホテルに無事チェックインすることが出来た。

その晩は、早速風呂にはいって一日の疲れを癒すと、すでに宿自慢の料理が待っていた。信州牛や地元産の食材をふんだんに使った見事な創作料理に加え、信州ワインが料理に味を添え、豊富な話題に時刻を忘れるほど親交を深めた有意義な夜となった。

翌朝、明け方に降った雨も無事に上がり、曇り空ながらも花の撮影には申し分のない天気の様子に、用意された豪華な朝食もそこそこに身支度を整えると宿近くのゴンドラの駅を目指した。

駅からは、ゴンドラとリフトを乗り継いで標高

1515mの高地までわずか20分。本来は360°のパノラマが開けてアルプスの山々を望みながらの空中散歩が楽しめるのだが、あいにくと今日は曇り空のためそれも叶わず、早くも色付き始めたナナカマドを眺めての空中散歩となった。

植物園に着くと、其処には厳しい自然環境にもかかわらず、広い山の斜面にコマクサや幻の花と言われているヒマラヤ原産の青いケシの花、エーデルワイスなどの有名な高山植物や名も知らぬ数多くの高山植物が競い合うように可憐な花を咲かせ我々を出迎えてくれた。

撮影後、さらに標高1676mに位置する地蔵ケルンまで急な山道を登って行くと、そこには、数多くの石で築かれた大きなケルンが鐘を囲むように立ち、多くの登山客が次々と打ち鳴らす鐘の音が、アルプスの空にこだましていた。

我々メンバーも全員がそれぞれの想いで鐘を鳴らしたのち、記念撮影を済ましていよいよ下山することとなった。帰路はわずかに青空も見え始めた天気の中をリフト、ゴンドラと乗り継いで無事宿に帰り着いた。宿のマスターに挨拶を済ませると預けていた車に乗り込んで、世話になった宿や短い間だが、身心共に癒された安曇野の自然とも別れを告げ帰路に就いた。

（編集注；p1の卓話と併せてお読みください。）

俳句同好会便り　　河合　和郎

私の一句～９月の句会から

秋到来。俳句の材料には事欠かない風流の季節でもある。月よし、虫よし、踊りよしと腕（頭）の振るいどころ。俳句同好会の面々の健吟・苦吟をお楽しみあれ。

敬老日街歩きにも背を伸ばし　　馬場　征彦

心の持ちようは姿勢にも表れる。背筋をぴんと伸ばして、まだまだ若い敬老日。

夏痩せかほろりと指輪抜け落ちる　渋谷文雄

夏痩せか老いか。作者は現実をやんわりと受け止めている。これも俳句の効用。秀句。

空高し朝駆けの子ら声昂し　　山形　忠顯

作者の作品には子供たちがよく登場する。この句にも、優しい見守りの目がある。

雨上り秋蝉一気鳴き競ふ　　石田　文彦

「秋蝉一気」に時を惜しんで鳴く秋蝉の姿、儚さがよく表わされている。秀句。

ひとときを黙してのちの蝉時雨　　池田ときえ

高点句、特選２人。この句も時を惜しんで鳴く蝉のひたむきさがよく詠われている。

風の盆胡弓も消へて明けの星　　立川冨美代

最高点句。風の盆は夜を徹して踊り明かす。その祭りの果てる淋しさが詠えた。

風の盆ゆるゆる迫る笠の波　　田中　信昭

嫋やかに躍る連がゆるゆると流れて来る。祭りは最高潮。風の盆の雰囲気満点。

庭師入りこざっぱりして秋涼し　　飯田冨美子

植木職人の手できれいさっぱりした庭。日常の一コマが爽やかに詠めた。

父母の歳越えて迎へる盂蘭盆会　　東山　榮

父母の歳を越えられた幸せを感謝し、祈る作者。しみじみとして味わいのある佳句。

眠られぬ旅の宿りやちちろ鳴く　　河合　和郎

鄙びた温泉宿。眠れぬままに虫の声を聞いている。誰もが体験する旅の一夜。

例会風景（ハッピーコインの披露）

編集後記：　９月上旬は、テニスの錦織選手の快進撃で、日本中が沸きました。最近、音楽やバレー等で日本の若者の世界レベルの活躍が目立ちます。これからの日本の姿を示しているのかもしれません。　　編集担当；馬場　征彦